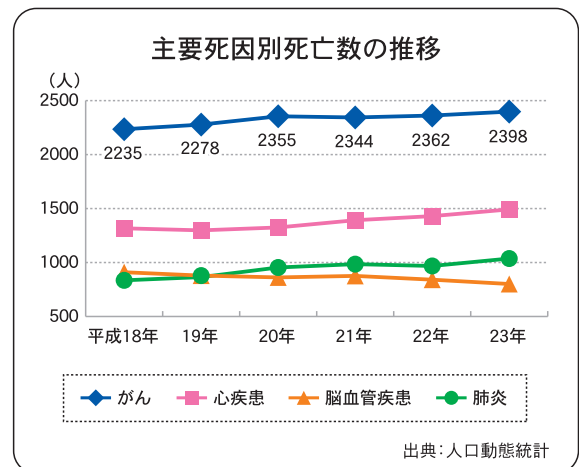


がんの予防、 早期発見・早期治療へ

福井県におけるがんの現状

高齢化の進展により、がんの死亡者数は増加傾向にあり、一層のがん対策が重要となっています。

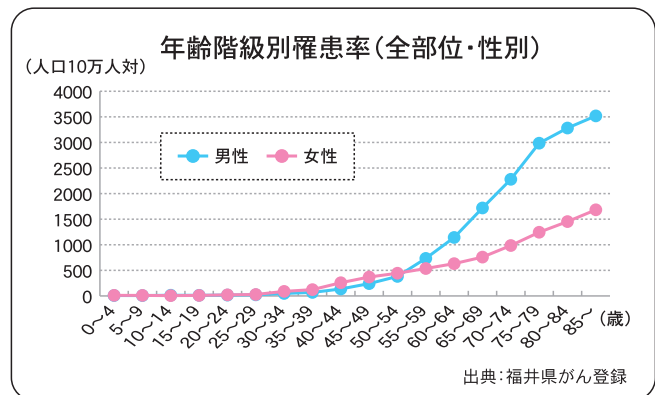


一番多くかかるがんは・・・

男性…1位：胃がん、2位：肺がん、3位：大腸がん
女性…1位：大腸がん、2位：乳がん、3位：胃がん

40歳から徐々に増えはじめる「がん」

がんにかかる方は40歳を超えると徐々に増えはじめ、50歳から60歳代では死亡原因の5割弱を占めています。



女性特有のがん

乳がんは最も罹患率が高く、特に40～50歳代に多く見られます。子宮頸がんは近年増加傾向にあり、20～30歳代が一番かかるがんとなっています。

昭和55年以降、福井県の死亡原因の第1位を占めている「がん」。現在では、3人に1人が「がん」で亡くなっています。そこで、何よりもまず自分でできる予防を心がけることが大切です。また、医学の進歩に伴い、がんは決して「不治の病」ではなくなってきており、そのため、定期的な検診による「早期発見」「早期治療」がとても重要です。

がん検診とは

がん検診の受診方法

職域がん検診 (勤務先で受ける検診)	事業所が福利厚生の一環として実施 ※1	事業所に直接お申し込みください。
市町が行うがん検診 ※2	集団検診 公民館や保健センターなど、地域の会場で日時を決めて行われる検診	個別検診 個人で予約し、個別に医療機関で受ける検診
	検診日程や申込(予約)方法など、お住まいの市町の担当課にお問い合わせください。	市町が定める方法により受診を希望する医療機関に事前に予約してください。

※1 事業所によっては実施していないところもあります。事業所で受けられなかった場合は、お住まいの市町の検診を受けることができます。
※2 市町発行の受診券や無料クーポン券が利用できます。

全国初の検診料金統一

福井県では、全国で初めて、県内の市町が実施するがん検診料金を統一しました。どこの市町の医療機関でも、お住まいの市町が発行する受診券を使用して、がん検診を受けることができます。

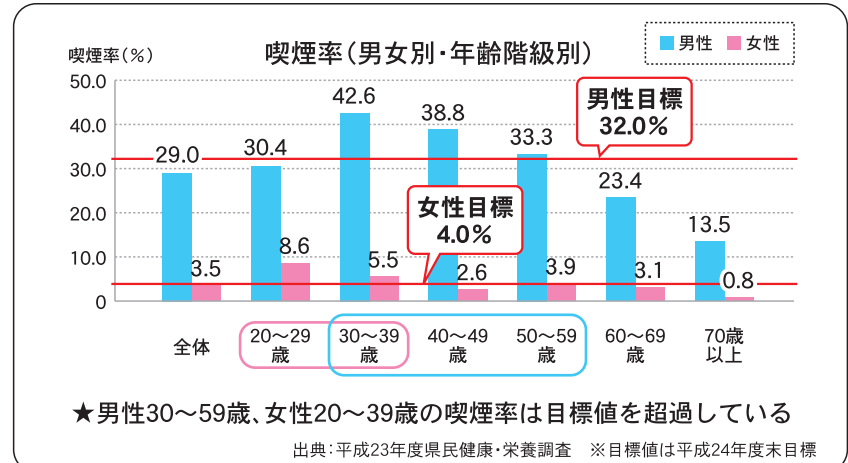
がん検診の対象者や費用など

種類	対象者	受診間隔	市町がん検診の個人負担金 ※1
胃がん	40歳以上	年1回	1,000円
肺がん	40歳以上	年1回	500円
大腸がん	40歳以上	年1回	500円 ※2
子宮頸がん	20歳以上の女性	2年に1回	1,000円 ※2
乳がん	40歳以上の女性	2年に1回	1,000円 ※2

※1 市町によって減額されている場合があります。
※2 特定の年齢を対象に無料クーポンが配布されます。

まずは予防が大事

がんの原因には、喫煙、生活習慣、細菌やウイルスの感染があり、これらを改善することが予防につながります。例えば、福井県では、若い世代や働き世代の喫煙率が高くなっています。禁煙やバランスのよい食事への改善など、できるところから予防に努めましょう。



がん検診を受けやすく

小規模事業所に出前検診を実施

仕事が忙しく、検診を受けられない女性も多いため、職場で働く女性を対象に、乳がんと子宮頸がん検診の出前検診を実施しています。市町の発行する受診券が使用できます。女性職員の多い事業所ではぜひご活用ください。



小規模事業所への出前検診

今年度すべての対象者に受診券を発行

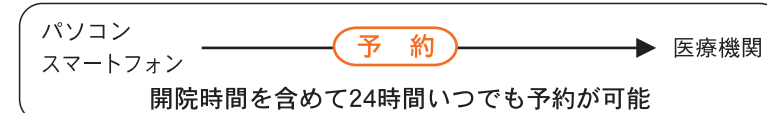
受診券の発行対象を、中小企業の従業員の方にも拡大し、昨年度の19万人から今年度31万人に増やしました。

「がんネットふくい」で予約を便利に！

市町実施の個別がん検診を希望される方に朗報です。医療機関が閉まっている夜間や休日でも、パソコンやスマートフォンからがん検診の予約ができるようになりました。働き世代の人もこれを機会に、ぜひがん検診を受けましょう。



さらに便利に



がん検診予約システム「がんネットふくい」のサイトアドレス

<http://www.gan-net.fukui.jp/>

安心して治療が受けられるように

県立病院のがん医療センターをこの4月に移転リニューアルし、落ちついて治療が受けられるよう環境を整えました。

がん専門の診療科を独立

これまで、がんの専門外来は、各診療科の外来で一般診療と並行して行っていましたが、今後は独立した専用の診察室で診療を行います。専門医によるよりきめ細かな診察を受けることができます。

【センターに移転したがん専門外来】

- ・血液・腫瘍内科
- ・胃がん専門外来
- ・大腸がん専門外来
- ・肺がん専門外来
- ・乳腺外来
- ・緩和ケア外来
- ・婦人科腫瘍外来(H25中に追加)



県立病院がん医療センター

広い外来化学療法室でゆったり治療

面積を大幅に拡張し、ベッド数も16床から20床に増床しました。中庭に面し、明るく快適な環境の中で治療を受けていただきます。



外来化学療法室

がん相談のための専門スタッフを配置

4つの相談室を設け、認定看護師などのがん専門の職員が患者さんからのさまざまな相談に応じます。

＜相談内容例＞

- ◇自分のがんや薬の副作用などについて詳しく知りたい。
- ◇がんと診断されたが、今後の生活が不安である。
- ◇経済的な支援や医療費のことが心配である。

陽子線がん治療をご利用ください

福井県立病院の陽子線がん治療センターでは、これまでに300人を超える方が治療を受けています。手術など他の治療が難しくても治療できる場合がありますので、ご相談ください。

陽子線治療の特長

- ◇がん病巣に集中して照射できるため、副作用が少ない。
- ◇切らずに治すため、体の機能を損なわず、体への負担が少ない。
- ◇普段どおりの生活をしながら、通院での治療が可能。

※陽子線とは…水素から電子を取り除いた陽子を高速に加速したものが陽子線です。照射された陽子線は、体の特定の深さで放射線量が最大になります。



入院せずに治療できる陽子線がん治療

対象となるがん

鼻・顔面など頭頸部、肺、肝臓、前立腺、転移性などの固形のがん
※上記以外のがんでも治療対象となる場合がありますのでご相談ください。

治療費用

240～260万円(照射回数により異なります。)
※民間医療保険の先進医療特約の対象です。

陽子線治療に対する負担軽減策

県では、陽子線治療を受けやすくするために、県内在住の方に対し優遇制度を設けています。

- (1) 治療費の助成
1治療あたり25万円
- (2) 嶺南地域にお住まいの方に対する通院交通費の助成
通院1回あたり3,000円
- (3) 治療資金を借入れた方に対する利子補給

もっと受診しやすく

嶺南にお住まいの方でも陽子線がん治療を受けやすくなるよう、敦賀市内で外来診察を始めました。

＜外来診察日＞ 毎月第2・第4金曜の午後 ※予約制
＜診察場所＞ 国立福井病院 敦賀市桜ヶ丘町33-1 TEL0770(25) 1600 (JR敦賀駅から車・バスで20分)
市立敦賀病院 敦賀市三島町1丁目6-60 TEL0770(22) 3611 (JR敦賀駅から車・バスで10分)